

上映日程

5/1(土)～7(金) オープニングウィーク (全回入替制)

10:00	12:15	2:00	3:40	5:30	7:30
人生への回帰	貴婦人たちお幸せに	犯人は21番に住む	密告	この空は君のもの	白い足

イヴニングショー 6:00

人生への回帰	5/8(土)～14(金)・6/19(土)～25(金)	11:30	1:40	3:50	7:35	貴婦人たちお幸せに
犯人は21番に住む	5/15(土)～21(金)・6/26(土)～7/2(金)	12:30	2:20	4:10	7:45	密告
この空は君のもの	5/22(土)～28(金)・7/3(土)～9(金)	12:15	2:10	4:05	7:55	白い足
貴婦人たちお幸せに	5/29(土)～6/4(金)・7/10(土)～16(金)	12:30	2:20	4:10	8:10	人生への回帰
密告	6/5(土)～11(金)・7/17(土)～23(金)	12:30	2:20	4:10	7:45	犯人は21番に住む
白い足	6/12(土)～18(金)・7/24(土)～30(金)	12:00	2:00	4:00	7:55	この空は君のもの

●ただし 5/18, 22, 31, 6/15, 26, 7/20, 24 は最終回なし。

5/1(土)より6作品連続ロードショー!

前売り¥1200 (当日一般 ¥1600 学生 ¥1300)

特別回数券〈6枚綴〉¥7000 (取り扱い: ACT窓口のみ) 絶賛発売中!

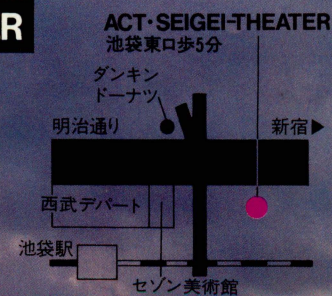
前売りチケットは ACT・SEIGEI-THEATER 窓口、チケットぴあ、チケットセゾン、プレイガイド等でお求め下さい。

お問い合わせ

シネカノン 03-5458-6571

ACT・SEIGEI-THEATER

03-3983-9756

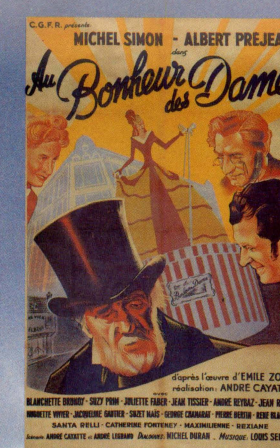


シネマ・オタンチック・ファンクラブ 会員募集!

★左記の特別回数券をお求めの方は誰でも入会できます。(1000名様限定)

★入会すると〈特別回数券(6枚綴)〉+〈オリジナル・ポストカード6枚セット or オリジナル・ポスター〉をもちろん差し上げます。

★申込は ACT・SEIGEI-THEATER 劇場窓口か郵便振替〈東京5-555962(有)あく〉でのみ受け付けています。



いつも自由のために闘っていた。
"リラとバラ"の歌を心に聴きながら...

LES GRANDS CINEASTES DU TEMPS PERDU

失われた時代の シネマ・オタンチック'93 CINEMA AUTHENTIQUE '93 巨匠たち

ジャン・グレミヨン Jean GREMILLON

アンリ=ジョルジュ・クルーゾ Henri-Georges CLOUZOT

アンドレ・カイヤット André CAYATTE



「時代の狭間に開花した偉大な才能たち」

シネマ・オタンチック第2弾

言うまでもなく1930年代に活躍したR・クレール、J・ルノールらの巨匠たちの作品群と、1960年代文字通り時代を席卷したJ=L・ゴダール、F・トリュフォーらヌーベルヴァークの監督たちの映画は、いまだにリバイバルを繰り返している程の人気である。しかし、実はこの両方の時代の狭間に我々が見落としていた傑作の数々がある。1940年代―戦前、戦中、戦後の最も混沌としたこの時代の監督たちは巨匠たちの助監督や脚本家を経て技術や手法を培い、後のヌーベルヴァークに決定的な影響を与えた作品を生み出した。今まで日本未公開であったジャン・グレミヨンの作品をはじめ、H=G・クルーズ、ジャック・ベッケル（シネマ・オタンチック第1弾）、アンドレ・カイヤットらの監督魂溢れる映画の世界。「本物の男たち」が帰って来たのだ。



LE CIEL EST A VOUS/1943/105分/モノクロ

「この空は君のもの」

監督：ジャン・グレミヨン
出演：マドレーヌ・ルノー、シャルル・ヴァネル

この映画は、1938年スペインとの国境に近いランド県モン＝ド＝マルサン市の長距離飛行大会で、女性世界新記録を樹立したデュペロン夫人の実話を映画化したものである。占領下に敢行された撮影は、飛行シーンひとつ撮るにも常に当局による厳しい監視がつきまとい難航した。だが完成した映画はそうした不自由さを感じさせるところか、「フランス人の希望や真の勇気が溢れた普遍的価値を持つ」（レクラン創刊号）映画と絶賛され大ヒット。以来、名匠グレミヨンの最高傑作として長く語り継がれることになった。人間にとっての自由とは、夢とは、また夫婦にとっての「友情」とは何か。実に多くの話題を投げかけながら、まさに大空のようなおおらかさと透明感を抱かせることに成功した作品である。

詩的リアリズムの名匠

中条省平

ジャン・グレミヨン、畏敬の念をこめて「呪われた映画作家」と呼ばれる。20年代のアヴァン・ギャルド映画から出発し、傑作『燈台守』でサイレント映画に終符を打ち、40年代には、R・クレールやJ・フェデールと並んでフランス映画の「詩的リアリズム」を代表する名匠となったにもかかわらず、その完全主義ゆえに、戦後はたった3本の長篇映画しか残していないからである。日本での公開作品もまた不当に少ないため、今回グレミヨンの未公開2作品を見ることができるのは、きわめて貴重なチャンスとなる。

『この空は君のもの』は、H=G・クルーズの『密告』とともに、ナチス占領下で撮られたフランス映画の最高傑作といえる。名優マドレーヌ・ルノー扮する女性パイロットが単独飛行の最長記録を達成する物語で、狂気すれすれの冒険をつつましい家族愛に包んで、感動的に描きだす。記録映画タッチの自由な空気にあふれ、現在では、戦後のネオ・リアリズムを予告する傑作とさえ評価されている。

『白い足』は、戦後にわずか3本作られたグレミヨン作品のなかでも重要な1本である。文豪ジャン・アヌイの脚本にもとづき、『この空は君のもの』とは対照的に、閉鎖的な漁村を舞台にして、ゴシック・ロマン風の暗鬱さをもった愛の悲劇が、一分の隙もない演出でみごとに綴られてゆく。

「呪われた映画作家」の呪縛の封印を解くこの絶好の機会を失ってはなるまい。



LES PATTES BLANCHES/1948/107分/モノクロ

「白い足」

監督：ジャン・グレミヨン
出演：フェルナン・ルドゥ、スージー・ドゥーレル

この映画は元来、作家のジャン・アヌイが監督する筈だったが、撮影の8日前に病で倒れたため急遽グレミヨンが撮ることになった。音楽を担当したエルザ・ヴァレーヌは、1930年にローマ賞を受賞した新進女流作曲家。また、不具の女性の役を演じたアルレット・トマは撮影中に探し出したと言われている。こうしていくつもの偶然が重なってできた「白い足」は、ヒューマニズム溢れる秀作として、戦後のフランス映画の中に特異な位置を占めることになった。映画は、人間嫌いで周囲からも煙たがられている伯爵が、魅惑的な悪女に翻弄された末、真実の愛を見つけたすまじを描く。老婆から教えられるままに娯楽などの薬草を積む若い女の描写など、20世紀初頭のフランスらしく、随所に幻想的なシーンが散りばめられバロック風味溢れた作品に仕上がっている。

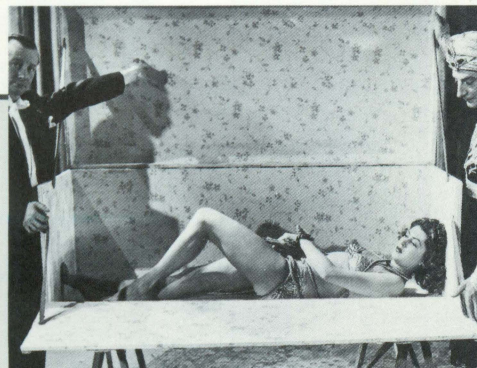


AU BONHEUR DES DAMES/1943/88分/モノクロ

「貴婦人たちお幸せに」

監督：アンドレ・カイヤット
出演：ミッシェル・シモン、アルベール・プレジャン

カイヤットが好んで取り入れた、裁判を通して社会の不条理を浮き彫りにする手法がここでも発揮されている。この作品は珍しくカイヤットの制作シナリオではなくエミール・ゾラの小説を映画化したもので、19世紀中頃が舞台になっている。静かな商店街に突然降って沸いたデパートの建設計画を巡って、街の生地商とデパート経営者の間で生活をかけた戦いが繰り広げられる。当時の衣裳や風俗を再現した舞踏会のシーンや百貨店の内装などは溜息の出るくらびやかさである。



L'ASSASSIN HABITE AU 21/1942/84分/モノクロ

「犯人は21番に住む」

監督：アンリ＝ジョルジュ・クルーゾ
出演：ビエール・フレネ、スージー・ドゥーレル

クルーゾの名を一躍有名にした記念すべき第一回監督作品。奇想天外なストーリー、そして随所にちりばめられた不気味なシークエンス。第一作ながらサスペンスとしての完成度は驚くばかりである。また、サスペンス調の推理ドラマの中にコメディの要素を取り入れて独特の世界を構築したこの作品は、40年代につくられたサスペンス・ドラマの中でも特異な位置を占めている。パリの名所モンマルトルで異常者「デュラン」によって連続殺人事件が開始される…。



LE CORBEAU/1943/93分/モノクロ

「密告」

監督：アンリ＝ジョルジュ・クルーゾ
出演：ビエール・フレネ、ジェネット・ルクレール

クルーゾの第一級心理サスペンスであると同時に戦中フランス映画の記念碑的作品である。1923年田舎町のチユールで起こった匿名手紙事件を基にしたこの映画は、ドイツ占領下当時のフランス民衆の不安と恐怖を見事に浮かび上がらせ、公開当時一大センセーションを巻き起こした。もともとはドイツ軍の命令により、フランス地方都市の腐敗を描くという目的で製作されたものでありながら、結果的にはゲシュタポ批判をやったのけ、一時は上映禁止になったという曰くつきの作品でもある。原題は「カラス」。



RETOUR A LA VIE/1949/120分/モノクロ

「人生への回帰」

監督：アンリ＝ジョルジュ・クルーゾ+アンドレ・カイヤット+ジョルジュ・ランパン+ジャン・ドレヴィル
出演：ルイ・ジューヴェ、ノエル・ノエル 他

オムニバス形式で描く、4人の監督による5つの物語。舞台は第二次大戦直後のフランス。ドイツ軍の捕虜になった兵士たちのそれぞれの帰還がテーマとなっている。収容所から九死に一生を得た男がゲシュタポで拷問を与えていた男と出会うストーリーなど、サスペンスありコメディありの多彩な作風からも大御所たちの傑作を思わせ、当時数多くつくられたレジスタンス映画の中でもとりわけ豪華なものとなっている。